

視察（研修）報告書

令和 6年 1月19日

府中市議会議長 様
創生会会長 様

会派名又は 創生会
議員名 真田 光夫

日 時	令和 6年 1月11日（木） から 令和 6年 1月12日（金）
研 修 先	国会議員陳情・研修、三鷹市
研 修 コ ー ス	国会議員会館、東京都三鷹市
研 修 タ イ ト ル	国会議員陳情・研修
参 加 者	創生会 9名、公明党 2名 合計 11名
研 修 内 容	<p>国会議員 衆議院議員（6名） 岸田文雄、寺田稔、佐藤公治、小林史明、石橋林太郎、小島敏文 参議院議員（3名） 宮口治子、宮沢洋一、越智俊之 公明党議員（5名） 斉藤鉄夫、平林晃、日下正喜、谷合正明、山本博司</p> <p>【 要望書 】</p> <p>① 府中南北道路の整備 ② 芦田川河川改修及び国道歩道整備 ③ 国道 432 号矢野工区の早期完成 ④ 御調川河川改修の早期完成 ⑤ 芦田川の河床掘削、支障木伐採の推進</p> <p>持続可能な医療体制の構築（①②を抜粋）</p> <p>① 広島県においても地域卒卒業医師や自治医科大学卒業医師の配置調整により、医師偏在の改善や中山間地域における医療体制の確保に努めていただいているが、当市が要望する医師数の全ての充足には未だ至っていないことから、「医師確保計画」の達成に向けた特段の支援をお願いしたい。</p> <p>② 府中市としても、山間へき地の医療提供体制の維持に病院の存在は欠かせないことから「公立病院経営強化の推進に係る財政措置の取扱いについて（令和4年4月1日総財準第74号）」に基づき府中市病院機構の医師等の確保に係る費用に対する財政支援を行っているが、現行の特別交付税措置は対象経費が限定（旅費、派遣元医療機関へ支払う負担金等）されていることから、例えば派遣された医師等の人件費についても対象経費とするなど、更なる財政措置の充実をお願いしたい。</p> <p>この他、燃料価格や診療材料費の値上りが続く一方で、病院の主な収益源である診療報酬は公定価格であるため、費用の増加に見合った収益の増加を図ることができず、府中市病院機構では深刻な収支の悪化に陥っている。誠に僭越な要望ではあるが、今後の診療報酬の改定に際しては、是非とも医療機関の経営状況の改善に資するような報酬額の設定となるようお願い申し上げたい。</p>

「こども未来戦略方針 加速化プラン」の主な支援策
「切れ目なく全ての子育て世帯を支援」の具体的内容等(財源含む)について

「出産・子育て応援交付金」 子ども家庭庁 成育局 成育環境課
令和6年度当初予算案 624億円(前年度当初予算額:370億円)
目的:妊娠期から出産・子育てまで支援し、安心して出産・子育てができる環境整備をする。

経済的支援

妊娠届出時:5万円相当、出生届出時:5万円相当

ニーズに応じた支援

両親学級、地域子育て支援拠点、産前・産後ケア、一時預かり等
補助率

伴奏型相談支援:国1/2、都道府県1/4、市区町村1/4

出産・子育て応援給付金:国2/3、都道府県1/6、市区町村1/6

クーポン発行等に係る委託経費:国10/10

「加速化プラン」3つの理念

① 若い世代の所得を増やす

児童手当

所得制限撤廃

支給期間3年間延長(高校卒業まで)

第三子以降は3万円に倍増

高等教育(大学等)

授業料減免(高等教育の無償化)の拡大

2024年度から年収600万円までの多子世帯等に拡充

更なる拡充-「加速化プラン」前倒し

子育て期の貸与型奨学金の返済負担の緩和

授業料後払い制度の抜本的拡充

出産

出産育児一時金を42万円から50万円に引き上げ

→2026年度からの出産費用の保険適用などを進める

働く子育て世帯の収入増

106万円の壁を越えても手取り収入が逆転しない

→支援パッケージを本年中に決定し実行

週20時間未満のパートの方々

→雇用保険の適用を拡大→育休給付が受けられるように

自営業やフリーランスの方々

→育児中の国民年金保険料を免除

住宅

子育て世代が優先的に入居できる住宅を今後10年間で計30万戸

フラット35の金利を子どもの数に応じて優遇

② 社会全体の構造や意識を変える

育休をとりやすい職場に

育休取得率目標を大幅に引上げ

(男性育休取得率85%を2030年)→男性育休を当たり前

中小企業の負担には十分に配慮

助成措置を大幅に拡充

育休制度の抜本的拡充

3歳~小学校就学までの「親と子のための選べる働き方制度」を創設

(時短勤務、テレワーク、フレックス勤務等)

	<p>時短勤務時の新たな給付 産後の一定期間に男女で育休を取得した場合の給付率を手取り 10 割に ◎支援策の内容は世界トップレベル→こどもと過ごす時間を</p> <p>③ 全てのこども・子育て世代をライフステージに応じて切れ目なく支援する 妊娠・出産時から 0～2 歳の支援を強化 伴奏型支援：10 万円+相談支援 「こども誰でも通園制度」を創設 働いていなくても時間単位で柔軟に利用 保育所：量の拡大から質の向上へ 児童数当たりの保育士を増加： 1 歳児 5 人に保育士 1 人。保育士の処遇改善 貧困、虐待防止、障害児、医療的ケア児</p> <p>「こども誰でも通園制度」 成育局 保育政策課 令和 5 年度補正予算：91 億円 全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備する。月一定時間までの利用枠の中で、通園給付の創設を見据え、試行的事業を実施する。 内容：補助基準上 1 人当たり「月 10 時間」を上限として実施する。 対象児童：保育所に通所していない 0 歳 6 か月～2 歳の未就園児 補助単価： ① 預かりに必要な経費 1 自治体当たり年額 17,002 千円（人 5 万人未満の自治体） ※委託料等は、こども一人 1 時間当たり 850 円を基本とし、 保護者負担額は、1 時間当たり 300 円程度を標準とする。 ② 指導監督院の雇上げに必要な経費：4,563 千円 ③ 賃借料補助（令和 5 年度以降に賃貸により開設した事業所に限る） 補助割合：国 3/4、市町村 1/4</p> <p>こども誰でも通園制度の設立に向けたシステム構築 成育局 保育政策課 令和 5 年度補正予算：25 億円 こども誰でも通園制度の創設に向け、システム基盤を整備し、円滑な利用や・コスト・運用の効率化を図る。 ① 予約管理機能 ② データ管理機能 ③ 請求書発行機能</p> <p>こども未来戦略方針サイト↓ https://www.soumu.go.jp/main_content/000893851.pdf</p>
所 感	<p>「こども未来戦略方針 加速化プラン」の主な支援策について所感 「こども未来戦略方針 加速化プラン」は包括的な子育て支援策を提案しています。具体的な経済的支援や制度改革、住宅優遇策など、広範で効果的な政策が盛り込まれています。 特に、若い世代の所得向上や男性育休取得率の引上げ、通園制度の創設など、社会構造や意識の変革を促進する取り組みに注目です。これらの提案が実現すれば、子育て世帯の負担軽減やワークライフバランスの向上が期待されます。また、補助基準やシステム構築にも十分な予算が計上されており、着実な実現への努力が感じられます。今後は、市民の意見を取り入れつつ、着実な施策実行を期待します。</p>

<p>研 修 内 容</p>	<p>デフレ完全脱却のための総合経済対策 内閣府 ～日本経済の新たなステージに向けて～ 令和5年11月2日 閣議決定 https://www5.cao.go.jp/keizai1/keizaitaisaku/keizaitaisaku.html</p> <p>【 基本的な考え方 】 「コストカット型経済」から「熱量あふれる新しいステージ」へ移行させるためのスタートダッシュを図るもの。予算措置のみならず、税制や規制・制度改革を総動員する。</p> <p>第1節 物価高から国民生活を守る 1 物価高により厳しい状況にある生活者・事業者への支援 2 エネルギーコスト上昇に対する経済社会の耐性の強化</p> <p>【 具体的施策抜粋 】 ・燃料油価格激変緩和対策事業（経済産業省） 令和5年補正予算額 6416 億円 ・電気・ガス価格激変緩和対策事業（経済産業省） 令和5年補正予算額 1 兆 5592 億円等</p> <p>第2節 地方・中堅・中小企業を含めた持続的賃上げ、所得向上と地方の成長を実現する 1 中堅・中小企業の賃上げの環境整備、人手不足対応、生産性向上を通じた賃上げ継続の支援 (1) 中堅・中小企業の賃上げの環境整備 (2) 人手不足対応、生産性向上を通じた賃上げ継続の支援・中小企業の省力化投資支援 (3) 「年収の壁」への対応を含めた所得向上へ取組 2 構造的賃上げに向けた三位一体の労働市場改革の推進 (1) 三位一体の労働市場改革の推進 (2) 多様な働き方の推進（同一労働・同一賃金の徹底、自治体による就職氷河期世代支援） 3 経済の回復基調の地方への波及及び経済交流の拡大 (1) 円安を活かした地域の「稼ぐ力」の回復・強化・観光地・観光産業の再生 (2) 地方活性化 (3) 大阪・関西万博の推進（会場整備や内容の充実に必要な措置、全国的な機運醸成）</p> <p>【 具体的施策抜粋 】 ・再生支援の総合的対策（経済産業省）【制度規制改革】 ・経営者保証の提供の有無を選択できる信用保証制度（経済産業省） 令和5年補正予算額 71 億円 ・簡易で即効性がある省力化支援に向けた中小企業等事業再構築促進事業の再編（経済産業省） 令和5年補正予算額 1000 億円 ・建設業における適切な労務費や賃金行き渡りの確保（国土交通省） 令和5年補正予算額 1 億円 ・年収の壁・支援強化パッケージ（厚生労働省） 令和5年補正予算額 5.4 億円 ・ライフステージを支えるサービス導入実証等事業（経済産業省）</p>
----------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- 令和5年補正予算額 12 億円
- ・「キャリアアップ助成金」による非正規雇用労働者の正社員化の促進（厚生労働省）【制度規制改革】
- ・リスクリングを通じたキャリアアップ支援事業（経済産業省）
令和5年補正予算額 97 億円
- ・地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化（国土交通省）
令和5年補正予算額 200 億円
- ・オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業（国土交通省）令和5年補正予算額 50 億円
- ・高速道路の料金制度の見直し（国土交通省）【制度規制改革】等

第3節成長力の強化・高度化に資する国内投資を促進する

- 1 生産性向上・供給力強化を通じて潜在成長率を引き上げるための国内投資の更なる拡大
 - (1) 科学技術の振興及びイノベーションの促進
 - (2) フロンティアの開拓
 - (3) GX・DXの推進及びAIの開発力強化
 - (4) 経済安全保障の確立及び国内生産基盤の強化に係るインフラ整備
 - (5) 教育DXフロンティア戦略の推進と文化芸術によるソフトパワーの形成・展開
 - (6) 対日直接投資の促進

2 イノベーションを牽引するスタートアップ等の支援

【 具体的施策抜粋 】

- ・GIGA スクール構想の加速（文部科学省）
令和5年補正予算額 2745 億円
- ・クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業（文部科学省）
令和5年補正予算額 60 億円等

第4節人口減少を乗り越え、変化を力にする社会変革を起動・推進する

- 1 デジタルによる地方の活性化
- 2 デジタル行財政改革
 - (1) 主な改革への取組
 - (2) 国・地方のデジタル基盤の統一化・共通化の加速化
- 3 公的セクター等の改革
- 4 DXの推進に関連するその他の取組・産業用データ連携基盤構築、電子署名普及のための法解釈の明確化等
- 5 人手不足等に対応する制度
- 6 包摂社会の実現
 - (1) こどもが健やかに成長できる環境整備を通じた少子化対策の推進
 - (2) 教育DXフロンティア戦略の推進を始めとする公教育の再生
 - (3) 女性活躍の推進（賃上げ促進税制の強化、配偶者暴力被害者の相談・支援体制の強化等）
 - (4) 高齢者活躍の推進及び認知症施策（「認知症・脳神経疾患研究開発イニシアティブ」の早期着手等）

	<p>(5) 孤独・孤立、障害者など困難に直面する方々への支援</p> <p>【 具体的施策抜粋 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル田園都市国家構想交付金（内閣府） 令和5年補正予算額 735 億円 ・地域公共交通確保維持改善事業（国土交通省） 令和5年補正予算額 299 億円 ・スマート農業等先端技術の開発・社会実装促進対策（農林水産省） 令和5年補正予算額 38 億円 ・こども誰でも通園制度（仮称）の本格実施を見据えた試行的事業（こども家庭庁） 令和5年補正予算額 91 億円 ・地域女性活躍推進交付金（内閣府） 令和5年補正予算額 6.8 億円 ・孤独・孤立対策の推進（内閣官房） 令和5年補正予算額 7.4 億円等 <p>第5節国土強靱化、防災・減災など国民の安全・安心を確保する</p> <p>1 自然災害からの復旧・復興の加速 （東日本大震災等の自然災害からの復旧復興等）</p> <p>2 防災・減災、国土強靱化の推進</p> <p>3 国民の安全・安心の確保及び外交・安全保障環境の変化への対応</p> <p>（1）国民の安全・安心の確保</p> <p>（2）外交・安全保障環境の変化への対応</p> <p>【 具体的施策抜粋 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気候変動を見据えた府省庁・官民連携による「流域治水」の推進（農林水産省令和5年補正予算額 1323 億円、国土交通省令和5年補正予算額 2660 億円） ・保育所等における性被害防止対策に係る設備等支援（こども家庭庁） 令和5年補正予算額 19 億円 ・学校外からのアプローチによるいじめ解消の仕組みづくりに向けた手法の開発・実証（こども家庭庁） 令和5年補正予算額 4.1 億円 ・不登校児童生徒等の学び継続事業、不登校児童生徒等の早期発見・早期支援事業（文部科学省） 令和5年補正予算額 51 億円 ・配偶者暴力被害者の相談・支援体制の強化（内閣府） 令和5年補正予算額 3.5 億円等
所 感	<p>提案された「デフレ完全脱却のための総合経済対策」は、非常に包括的で幅広い分野にわたる施策が提案されています。網羅的なアプローチが見受けられ、地方活性化やデジタル化、社会的な課題への取り組みがバランスよく盛り込まれていると思います。</p> <p>予算の規模も大きく、将来の日本経済の発展に向けての意欲的な取り組みが期待されます。ただし、これらの政策が実行される中での具体的な効果や実現可能性には慎重な見守りが必要だと思われます。</p> <p>しかし、「デフレ完全脱却のための総合経済対策情報」は、府中市や商工会議所、事業経営者、地域住民にとって有益と思われる情報もたくさんあるので、情報を早く・広く発信することで地元の産業活性化や福祉の増進に寄与できると思いました。</p>